

2 月

February

結核治療のための「グローバル患者個人情報プラットフォーム」提供を開始

TB-IPD プラットフォームは、結核の最適な治療法に関する規範的ガイダンスのための知識ベースを増やし、結核研究を活性化。

WHO：リーシュマニア症に関する2つの画期的な文書を発表

砂地に生息する吸血性のサンドフライが媒介するリーシュマニア症抑制プログラムおよび研究者向けの2つのガイダンスを発表。対策とサーベイランスを強化するための実用的なツール、技術、手順を提供。

女性器切除の予防とケアに関する新しいトレーニングツール

WHO と HRP は、「FGM (Female Genital Mutilation) 予防のための個人を中心としたコミュニケーションガイド」、「看護と助産のカリキュラムに女性器切除 (FGM) の内容を取り入れる実践的ガイド」を発表。

顧みられない熱帯病プログラムのための「ハウツー」ガイド第2版；WASH とともに

第2版は、NTDの影響を受けている患

まれない人々への WASH (水、トイレ、衛生) 保健サービスの提供を改善の段階的な指針を示し、新ツールも含まれる。

WHO：「結核撲滅のための多部門説明責任フレームワーク (MAF-TB) 適応と実施」の成功事例

ケーススタディ集、ロールモデルとなりうる国やステークホルダーの経験や教訓を収集。

国際疾病分類 ICD-11 (2023 版) をリリース

ICD-11、2023 年版では、ICD-11 の最先端のコーディングシステム、およびより良い健康情報のための多言語アクセスの利点をさらに強化、多言語対応ブラウザを展開。ICD-11 の使用条件は icd.who.int で確認でき、ダウンロードが可能。死亡率と罹患率特別電子プラットフォームも利用可能。

身体活動に関する世界現状報告 2022：国別プロファイル

政策提言の実施状況を紹介。

都市・地域計画における健康の統合：ソースブック

人間居住の開発を導くプロセスに、健康を組み込むための既存のリソースやツール、アドボカシーの枠組み、エントリー

ポイント、ガイダンス、ツールや例示的なケーススタディなどを掲載。

健康に統合した都市・地域計画の為にディレクトリ

健康の観点から都市を計画・設計することの重要性に関する情報やガイダンスを提供するオープンアクセスリソースやツールのオンラインリポジトリ。トレーニング教材などが含まれる。

WHO 聴覚トレーニングマニュアル

世界耳の日 (3月3日)、トレーニングマニュアルを発表。トレーナーのハンドブックやその他のコミュニティリソースが付属し、聴覚維持の重要性を強調。

日常的なエビデンスの政策決定過程における活用を支援する；WHO チェックリスト

Evidence-Informed Policy Network 事務局が EIPM の制度化支援のために作成。重要なステップとツールとなる。

ポリオ：国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (PHEIC) 勧告を3ヶ月再延長

WPV1 (野生型ポリオウイルス1型)、cVDPV2 (伝播型ワクチン由来ポリオウイルス2型) 等の発生状況からみて国際感染拡大のリスクは継続中と判断。

注) 本サマリーは、WHO発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう標題及び冒頭部分を仮訳しているものです。詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



WHO : 新ロードマップ「グローバル乳がんイニシアチブフレームワーク」を発表

「ワールドキャンサーデー」にちなみ、乳がんの早期発見、適時診断、包括的管理のための健康増進の3本柱を実施するよう各国に推奨。

Lancet 誌 : 専門家が搾取的な粉ミルク販売の取り締まりを呼びかけ

Lancet 誌に掲載された新しい3つの論文シリーズでは「粉ミルク業界のマーケティング戦略は搾取的であり、彼らの誤解を招く主張と政治的干渉に対処するために、緊急の取り締まりが必要である」と主張。

WHO : インフォデミック マネジメントとソーシャルリスニングのための倫理的フレームワークとツールに関する審議を開始

健康上の緊急事態においては、エビデンスに基づく戦略を用いて対応することがより重要。健康上の「緊急事態の際に急増する誤報を含む過剰な情報」であるインフォデミックのマネジメントと、ソーシャルリスニングにおける倫理的考察を議論。

G-STIC 世界会議ハイレベル本会議での WHO 事務局長発言

持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けた世界的な動きを促進することを目標に開催される会議で、5つの優先事項「5P」を示した。

1. promoting health 2. providing health 3. protecting health 4. powering health 5. performing for health

コレラ : 世界で急拡大

2月1日現在、少なくとも18カ国がコレラ患者を報告。経口コレラワクチンなどの不足に加え、複数の疾病の同時発生で、公衆衛生・医療関係者が過緊張状態にある。WHOは加盟国に対し、国境を越えた広がりや迅速に評価し、観戦を封じ込めることができるよう協力し、定期的な情報共有を確保するよう要請。

WHO 健康緊急事態プログラム (WHE)、HPass 認証を取得

WHEが、HPass認証(人道的専門能力開発の支援を目的とした認証制度)を取得。人道的学習のための公認プロバイダに。

WHO : カーター・センター、NCD アライアンスと正式パートナーに

WHOの理事会は、Carter Center, Inc. とNCD AllianceがWHOと正式な関係を結ぶことを発表。ギニアワーム病(ドラクンキュリア症)の撲滅に取り組む。非国家主体のWHO統治機関のセッシ

ョンへの参加、議題の提案、サイドイベントの開催が可能に。

実地研修によるインフルエンザおよび SARS-CoV-2 のシーケンシング能力向上

2022年、WHOの3地域26カ国の国立インフルエンザセンターの専門家は、インフルエンザおよびSARS-CoV-2のゲノム監視を実施するためのゲノム配列決定の実地研修を受講。陽性サンプルの配列を迅速に決定し、遺伝子配列をデータベースで共有することを推奨。

有害な美白化粧品から水銀を除去するために各国が一致団結

「水銀含有美白製品撲滅プロジェクト」は、有害美白製品にさらされるリスクを減らすためにモデル規則を策定。

エムポックス (mpox) : 国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (PHEIC) を維持

monkey pox (サル痘) の同義語として「mpox」という新しい用語を推奨。

WHO 緊急マールブルグ会議

赤道ギニアで新たに確認されたマールブルグのアウトブレイクに向けた対策会議開催。

2月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。

<https://japan-who.or.jp/factsheets/>

・ラドン ・ハンセン病 ・リハビリテーション ・女性性器切除 ・住血吸虫症 ・てんかん

3 月

March

国際保健規則（2005）改正案、各国政府が初の詳細協議実施

各国政府は、WHO 国際保健規則 2005（IHR）の改正に向けた前進に合意し、COVID-19 パンデミックによってもたらされた課題などに対応。

結核患者とその家庭が抱えるコストに関する調査報告 2015 - 2021

2015 年から 2021 年に実施された、結核患者とその世帯が直面するコストに関する 20 の国別調査について包括的な資料を提供。

水の安全計画マニュアル：飲料水供給業者のための段階的リスク管理 第 2 版

WHO 飲料水水質ガイドライン従って水安全計画の策定と実施を支援するための実践的なガイダンス。改訂第 2 版では管理手続きを一部簡素化。

難民・移民の健康を守る、新テクニカルブリーフと大要を公表

ブリーフは難民と移民の健康の衡平性を確保するための主要な行動と政策提言を示す、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジへの包括的なアプローチ。「世界各地からの経験」は、政策をどのように実

施してきたかを紹介し、政策上の留意点をまとめた。

耳と聴覚のプライマリーケア・トレーニングマニュアル発表

難聴や一般的な耳の病気の予防、特定、管理に関する実践的なガイドで、医療従事者のトレーニングや、耳と聴覚のケアに携わる人々のためのトレーナーズハンドブック。

WHO グローバル健康支出データベース；グローバル・プライマリーヘルス支出の理解

PHCE 推計値は、各国を比較するための重要な参考資料となり、指標の方法論、適用、有用性の説明に役立つ。

自動車用安全拘束具の使用を促進する新しいグローバルガイドライン

子ども用シートベルトやチャイルドシートなど、子供の命を守るための乗員拘束具の使用のマニュアルを発表。

救命救急医療の新実用ガイド

救命救急医療において、非政府組織が果たしうる役割を明確に定義。アドボカシーを行うための具体的なアクションを提示。

ウクライナ危機に対する WHO の対応：年次報告書 2022

WHO と健康パートナーがウクライナ国内および難民受け入れ国において、重要な医療サービスの提供への混乱を最小限に抑えたことを実証。

WHO：医療従事者のサポートとセーフガードリスト 2023

脆弱な国々は、医療従事者人材育成と健康システム強化のための優先的な支援を必要としており、医療従事者労働市場の分析と、派遣元国での医療従事者の十分な供給を確保するため政府間の医療従事者移住協定を推奨。

WHO：新マラリアガイドライン

マラリア治療のためのガイドライン第 3 版とマラリア媒介虫制御のためのガイドラインが統合。新 PDF 版が WHO のウェブサイトからダウンロード可能に。

WHO：年齢に応じた抗生物質の研究開発に関する優先順位を発表

WHO は、乳幼児や小児に特有のニーズに対応できる抗生物質の優先小児用製剤リストを初めて発表。最適な製剤がないレガシー抗生物質 3 剤が優先リストとして含まれている。

注) 本サマリーは、WHO 発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう標題及び冒頭部分を仮訳しているものです。詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



患者安全に関するモントルー憲章

この憲章では、投薬、手術、感染予防と制御、抗菌剤耐性など患者安全のための優先事項の設定が促されている。

WHO：幼児期の発達を測定する新しい総合的な方法（GSED）を開発

3歳までの幼児の発達を集団レベルで監視するための新しい測定パッケージ、Global Scales for Early Development を発表。認知、社会・情緒、言語、運動能力などを総合的に評価するDスコアの詳細や関連するテクニカルレポート。GSED アプリも提供。

WHO：世界結核デーで、結核対策に向けた旗艦イニシアティブを強化

「薬剤耐性結核の短期経口治療レジメン」の特別行動要請を発表。新ガイドラインでは、新規のBPaLM/BPaL レジメンを迅速に展開することを推奨。

健康の商業的決定要因および公平性に関する行動を呼びかけ

タバコ規制、母乳代替品のマーケティング、非感染性疾患などの分野で、商業的決定要因の特定の側面に取り組む各国政府に対する支援を強調。来年「健康の商

業的決定要因に関する最初のグローバル報告書」発行予定。

麻疹・風疹対策の新時代へ

世界の予防接種率が最悪に後退し続けていることに起因する現状に対処するため、これまで以上に緊密な連携が必要であることから、「IA2030 麻疹・風疹パートナーシップ（M&RP）」に移行。

列国議会同盟（IPU）総会でのWHO：一般討論における声明骨子

「平和なくして健康はありえないし、健康なくして平和はありえない」共通のビジョンを再確認。

HRP 発足から 50 年：活動紹介

国連共催の特別プログラムである HRP（the Human Reproduction Program；国連ヒューマン・リプロダクション・プログラム）は、「包括的性教育に関する国連国際技術ガイダンス」の 2018 年更新版に、公平なジェンダー規範構築に関するコンテンツが含まれるよう提唱することに成功。若者が将来、性的健康を損なう要因をより理解できるようになった。

グローバル・サミット：分娩後異常出血を改善するための優先事項を決定

「Postpartum Haemorrhage：PPH（分

娩後異常出血）に関するグローバル・サミット」が開催され、PPH に関する研究、政策、ガイドライン、実施への障壁について検討。

WASH 実現に向けた WHO・ユニセフ共同声明

各国に対し、WASH サービス（Water, Sanitation and Hygiene）を実現するためリーダーシップ、人と制度への投資、資金調達などを加速させるよう呼びかけ。

妊娠・出産が原因で、2 分間に 1 人の女性が亡くなっている

「妊産婦死亡率の傾向」では、妊産婦死亡の削減に関する世界目標の達成に向けて進捗を大幅な加速の必要性を報告。

世界食品安全デー 2023：食品規格は命を救う

食品規格は、信頼の基盤であることを強調。

性的不適切行為の予防と対応：WHO の 3 ヶ年戦略 2023 - 2025

性犯罪の防止と対応戦略が作成され、被害者と生存者中心のアプローチへ移行。

パンデミック協定交渉開始

パンデミックの予防、準備、対応に関するグローバル・アコード（協定）の交渉を開始。

3月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。
<https://japan-who.or.jp/factsheets/>

- ・難聴と聴覚障がい
- ・先天性疾患
- ・障がい
- ・食品中の自然毒
- ・口腔保健
- ・認知症
- ・慢性閉塞性肺疾患（COPD）
- ・高血圧
- ・デング熱及び重症デング熱



「WHO 創立 75 周年」 - 健康の 衡平性を呼びかけ、歴代の公衆 衛生のマイルストーン -

WHO「健康の衡平性のための新たな推進」を呼びかけ、マイルストーンをウェブで公開。

WHO : 主要リーダーシップ人事 を実施

5 名の新メンバーの内、医薬品アクセス担当事務局長補に中谷祐貴子氏。

国際保健規則改正案、各国政府 が第 2 回詳細協議を実施

公衆衛生対応、監視・対応のための中核的能力、協力・援助に関する条項の改正案、新 6 条項、1 付属書の改正案を検討。

「Covid-19 ワクチン接種ガイド ンス」更新

新ロードマップは、SARS-CoV-2 感染による死亡や重症化のリスクが最も高い人々を守ることに優先を推奨。

WHO と列国議会同盟が、ユニバー サル・ヘルス・カバレッジに関 する新しいハンドブックを発表

各国国会議員に実践的で実行可能な勧告を提供。議員が果たせる重要な役割を説明。

都市計画・地域計画に健康を統 合するためのディレクトリ概要

UTP : urban and territorial planning における健康への配慮の重要性、健康や社会経済への影響の定量化、トレーニング資料などが含まれるオンラインリポジトリ。

WHO : AWaRe (Access, Watch, Reserve) 抗生物質ブック発行

WHO モデル必須医薬品リストと WHO モデル小児用必須医薬品リストを補完する「The WHO AWaRe antibiotic book」を発表。抗菌薬耐性発生のリスクに関する具体的なガイダンス。

People Power ; 実体験を持つ人 々の有意義な関与強化 - WHO の新しい「Intention to action (行動への意図)」シリーズ

非感染性疾患 (NCDs)、精神疾患、神経疾患の詳細な事例データベース。善意の研究機関に所属する研究者に限定して契約後に利用が許可される。

HIV、ウイルス性肝炎、性感染 症の予防、診断、治療、および 注射薬物使用者のケアのための 介入の推奨パッケージ

「注射薬物使用者に関連するガイドライン」、「C 型肝炎の診断と治療に関連する

ガイドライン」で、公衆衛生上の対応について概説。

WHO : 世界規模の健康格差デー タ集を公開

集団の健康とその決定要因に関する、最も包括的な世界規模のコレクションで、集団間の健康不平等を時系列で追跡することが可能。

WHO : エイジフレンドリーシ ティやコミュニティのための国家 プログラム開発に関する新しい ガイドを発表

年齢にやさしい環境の創造を加速させるために、枠組みや詳細な事例を示し、関係者が自由に使用できるツールキット。

手指衛生促進フレームワーク (HHAFT) ツール

UNICEF、WHO、WaterAid によって開発され、普遍的な手指衛生に向けた進歩を加速するため使用するよう設計されている。

WHO : 環境、気候変動、健康 の関連性に関する概要

健康の改善と環境リスクの低減のためのリソース (WEB データ)。

国の医療情報システムのための フレームワークと標準、第 2 版

注) 本サマリーは、WHO 発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう 標題及び冒頭部分を仮訳しているもの
ですので、詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリ
リース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



医療情報システムに求められるビジョン、基準、プロセスに関するコンセンサスを形成する上で、適切かつ既存の標準を促進。

WHO : 「マラリア対策推奨ツール」導入拡大を要請

世界マラリアデーを記念して、新しい戦略とフレームワーク、ツールキットを発表。

持効性抗 HIV 注射剤「カボテグラビル」の製造に関する 3 メーカーとのサブライセンス締結

医薬品特許プール (MPP : Medicines Patent Pool) が、メーカーと曝露前予防 (PrEP) の長期作用型注射剤製造サブライセンス契約。CAB-LA のジェネリック医薬品を製造が可能に。

IARC、新しい科学 IT プラットフォームで研究者にデータを公開

研究機関間のデータ共有とコラボレーションを促進するための IT プラットフォームを立ち上げ。がん疫学研究のデータに許可を得てアクセスし分析することができる。

COVID-19 に関する世界的知見の概要

ワクチン接種に関するグローバル概要、TechNet21 (WEB) で公開。

mRNA 技術移転プログラムが次のフェーズへ

mRNA 技術の科学、HIV や結核など他の

疾患領域における LMICs に関連する主要なアプリケーションについて議論の予定。

アフリカにおける人獣共通感染症増加への備えを強化

「マールブルグウイルス病」の流行は、ヒト、動物、環境の決定要因を含むいくつかの要因によると推測。このため WHO は健康上の緊急事態に対する準備、予防、保護、迅速な対応、回復のための能力を高めるために活動強化。

新しいインフォデミックマネジメントフレームワーク ; 健康上の緊急事態における集団の健康情報ニーズを浮き彫りに

不正で有害な情報に対応するため、インフォデミックインサイトの統合分析開発のためのマニュアルや、倫理委員会ガイダンス発行予定。

新たな脅威に対する準備と復帰へのイニシアティブ (PRET)

WHO は Preparedness and Resilience for Emerging Threats initiative を開始。ワンヘルスの視点を適用し、新興感染症の脅威に備えるためのガバナンス、資金調達、システムについて指標。

WHO 欧州、口腔疾患への緊急対策を呼びかけ

口腔ケアなくしてユニバーサルヘルスカバレッジ (UHC) の達成は不可能とし、グ

ローバル口腔保健アクションプランを補完。

ワンヘルスに取り組む 4 機関、グローバル・アクションの強化を呼びかけ

ワンヘルスは、世界保健機関、国連食糧農業機関、国連環境計画、国際獣疫事務局が、重要なアプローチと呼びかけ。

フォルコジンを含む咳止め・風邪薬の使用歴と神経筋遮断薬 (NMBA) に対する周術期のアナフィラキシー反応の危険性

WHO は、フォルコジン含有製品が世界的に広く使用されており、潜在的なアナフィラキシー反応の深刻な原因となっていることに鑑み、安全警告発出。

WHO : アフリカ連合開発庁、ILO が協力し、アフリカの保健医療従事者を保護

アフリカ大陸の医療従事者では、ワクチン接種など感染予防対策の不足のほか、高レベルの職場暴力やハラスメントに直面。共同プロジェクトは、問題に取り組むことを目的に連携。

世界マラリアデー 2023

「Time to deliver zero malaria : invest, innovate, implement (投資、革新、実行)」をテーマに掲げ、WHO は 3 つ目の「i」である「implement (目的の実行)」に焦点。

4月のWHOファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。

<https://japan-who.or.jp/factsheets/>

- ・麻疹 ・健康の商業的決定要因 ・子宮内膜症 ・自閉症 ・マラリア ・腸チフス ・うつ病性障害(うつ病)
- ・不妊 ・糖尿病 ・単純ヘルペス ・シャーガス病 ・髄膜炎 ・エムポックス(サル痘) ・HIVとエイズ、
- ・エボラウイルス病